



# 川西小だより

笑顔で『 明るく 楽しく 元気よく 』

令和5年6月1日  
富田林市立川西小学校  
TEL 24-3107  
FAX 26-2306

★児童数配布

『 活気あふれる川西小 』 校長 山下 文博

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行され、本校でも徐々にコロナ禍前の教育活動が行えるようになってきました。6年生の修学旅行も、マスクを外した中で活動することができるようになりました。「人と防災未来センター」「天空 大冒険 ソラカケル」「姫路城(車窓見学)」そして「姫路セントラルパーク」と盛りだくさんの行程となっています。「ああ～楽しかったあ。」で終わらせるのではなく、友だちの良いところや、頑張っているところ、また二日間を一緒に過ごす中で、普段の学校生活では見えなかったところにも気づいてもらえればと思っています。

6月はこの修学旅行を皮切りに、土曜参観&引き渡し訓練、そして水泳指導(プール)も始まります。また、複数名の大学生も教育実習にやってきます。さらに活気あふれる川西小学校で、残りの一学期を元気に過ごしたいものですね。

さて、一学期が始まりもうふた月が過ぎました。各学年、各学級では様々な取り組みを行っています。ほんの少しですが紹介したいと思います。

低学年のある教室では、1、2年生合同で行った『学校たんけん』についての振り返りが教室の後ろに掲示してありました。「よかったこと・うまかったこと」そして、「もうすこし、こうすればよかった。」について学級で話し合ったことが書かれています。そして、終わりには「つぎにおけて」として、「はんできょうカして、しっかりじゅんびをする!!」とまとめられてありました。一つ一つの行事や取り組みをただ単にこなすのではなく、きっちりと振り返り、次の取り組み等につなげていくということを、低学年から意識付けるということはとても大切なことだと思いました。

中学年の教室の廊下には、「一人一役 当番表」というものが掲示されています。「まど」「かぎ・電気」「健康観察」「整列」「配り」中には「お助け」というのも…。他にもたくさんあり、これらは教師から降ろしたものではなく、自分たちが毎日過ごす学校生活の中でどんな役割が必要なのかを話し合っただけです。自分たちで決めた役割なので、責任をもって取り組んでくれているようです。

ある教室の壁面に、なにやら文字の書かれたハートがいくつも貼ってあります。よく見てみると、「きゅうしょくかんしょく3日目」「たいいくのマット グループできょうりよく ようい、かたづけばっちり」「先生がいなくても自分たちでうごけた」などがそれぞれの日付と花まるとともに書かれてありました。また高学年のある教室では同様のハートが貼ってありますが、色分けしてあり、担任からの評価や、他の先生方から褒めてもらったこと、そして担任からみんなへのメッセージ(目標)が書かれています。両クラスとも一年間でどれだけハートの数が増えるか楽しみます。

また、ちよくちよく他の学年・学級の様子もお伝えできればと思います。

